

R2 GILI実験講座②「手触りを数値化する」(理数探究科) 生徒アンケート 集計結果

質問	回答番号					合計	割合
	①	②	③	④	⑤		
Q1 科学についてどのように思うようになりましたか？	受講前から好きだったし、受講後はより好きになった	受講前から好きだったが、受講後もあまり変わらない	受講前から好きではなかったが、受講後は好きになった	受講前から好きではなかったし、受講後もあまり変わらない	受講前よりもきれいになった	48	
	4 8.3%	40 83.3%	0 0.0%	2 4.2%	2 4.2%		
Q2 GILI講座での探究活動「手触りを数値化する」は面白かったですか？	面白かった	どちらかといえば面白かった	どちらともいえない	どちらかといえば面白くなかった	面白くなかった	48	
	2 4.2%	8 16.7%	20 41.7%	11 22.9%	7 14.6%		
Q3 今回のGILI講座で与えられた課題は、難しかったですか？	とても難しかった	難しかった	どちらともいえない	難しくはなかった	簡単だった	48	
	19 39.6%	22 45.8%	7 14.6%	0 0.0%	0 0.0%		
Q4 今回のGILI講座で与えられた課題に、主体的に取り組みましたか？	主体的に取り組んだ	どちらかといえば主体的に取り組んだ	どちらともいえない	どちらかといえば主体的に取り組まなかった	主体的に取り組まなかった	48	
	3 6.3%	21 43.8%	14 29.2%	9 18.8%	1 2.1%		
Q5 今回の講座に参加して、難しい課題に積極的に挑戦しようとする気持ち(挑戦心)はどうになりましたか？	受講前から挑戦心はあり、受講後はより強くなった	受講前から挑戦心はあり、受講後もあまり変わらない	受講前は挑戦心はなかったが、受講後は挑戦心をもつようになった	受講前から挑戦心はなかったし、受講後もあまり変わらない	受講前よりも挑戦心がなくなった	48	
	3 6.3%	36 75.0%	3 6.3%	5 10.4%	1 2.1%		
Q6 今回の講座に参加して、探究を進めるための考え方や手法を学びましたか？	学べた	少し学べた	あまり学べなかった	全く学べなかった	そのような場面がなかった	48	
	7 14.6%	27 56.3%	12 25.0%	1 2.1%	1 2.1%		
Q7 GILI講座への参加で、大学や企業で行っている科学研究に対して関心が増しましたか？	受講前から興味関心はあり、受講後はもっと興味関心が増した	受講前から興味関心はあり、受講後もあまり変わらない	受講前は興味関心はなかったが、受講後は興味関心をもつようになった	受講前は興味関心はなく、受講後もあまり変わらない	受講前よりも興味関心はなくなった	48	
	7 14.6%	29 60.4%	7 14.6%	4 8.3%	1 2.1%		
Q8 GILI講座への参加で、科学研究や新技術の開発に対して、自分自身が参加したい・経験してみたいという関心が増しましたか？	受講前から興味関心はあり、受講後はもっと興味関心が増した	受講前から興味関心はあり、受講後もあまり変わらない	受講前は興味関心はなかったが、受講後は興味関心をもつようになった	受講前は興味関心はなく、受講後もあまり変わらない	受講前よりも興味関心はなくなった	48	
	4 8.3%	27 56.3%	7 14.6%	9 18.8%	1 2.1%		
Q9 今後、今回の講座のような専門家に与えられた課題に挑戦するような探究活動や実験実習等があったら、また参加したいと思いますか？	参加したい	どちらかといえば参加したい	どちらともいえない	どちらかといえば参加したくない	参加したくない	48	
	1 2.1%	10 20.8%	24 50.0%	11 22.9%	2 4.2%		

Q10 今回の取り組み全体を通しての感想や意見、要望などあれば自由に記入してください。

- ・良くも悪くも、歯ごたえのある内容だった。
- ・触り心地を定量化するとき、実用面・機能面を考慮すると主観が入って一般化できないと思うので、車のシートという例えは要らなかったと思う。
- ・時期的に忙しく、回数が少ない中での取り組みだったため授業内外でも活動を強いられて正直辛かった。
- ・来年度も続けるとしたら、1年生ですの方が良いと思う。②
- ・課題設定が難しかった。③
- ・期間が長かった。
- ・時間が少し長かった。自分の興味のある分野での講座に参加したい。
- ・準備の時間が少なかったように感じた。スライドを表示させるときのトラブルが多かったように感じた。
- ・とても貴重な取り組みをさせていただきありがとうございました。
- ・段取りをしっかりしてください。時間守ってください。
- ・触感を数値化するという難しい研究を自分達で考え、その後どうやっているのかを聞くというこの流れはとても面白かった。今回の活動は、授業としてとれている時間が少なく自分達で時間を作るしかなかった。また、グループのメンバーに違うクラスの人がいるなど、集まるのが難しかったように感じた。
- ・目標とするものが見えなくて難しかった。
- ・企業の方からの実験をするという貴重な体験が出来て企業の努力を知ることが出来た。
- ・活動の目的がよく分からなかった。『触り心地を定量化する』というものだったが、車のシートの話が入ってきて複雑になったと思う。定量化するというのはゴールがないものなので難しいのは当たり前なことだと思うが、活動の趣旨がよく分からないまま、1時間目から「はい、どうぞ」と丸投げだったのでよく分からず難しかった。この活動がどこに繋がるのか分からず、たかが高校での取り組みだと思うのでモチベーションが保てなかった。
- ・実際に東レさんのような科学と関連した企業と研究をしてみて、今社会が求めているものを研究することが難しいと感じた。正直に言うと、つまらなかったと思った。
- ・課題が難しすぎてどうアプローチしていけば良いのかとても苦しんだ。②
- ・いきなり手触りの定量化と言われても全くイメージがつかめず、あまり身に入らなかった。
- ・少し、時間と機材が足りなかった感じがした。一方で感覚を数値化するための切り口の多さや複雑さゆえの不足だったと思う。いかに観点を整理してそれらのつながりを考えていくかが大切ではないかと思った。
- ・SSRや部活動の関係で、あまり力を入れられなかった。中途半端になってしまい悔しい点が多くあった。
- ・全くしたことがない事だったので、難しかった。②でもその分様々な考えを出すことが出来た。
- ・課題についてもっと具体的に提示してもらえると、積極的に挑戦できたと思う。
- ・課題が難しすぎて考察があまりできなかったため、課題の難易度を下げてほしい。
- ・抽象的な課題に取り組むのは意味が分からず難しいと思った。しかし、とても楽しかった。企業の人たちは、日常的にこれに取り組んでいるのはすごいと思った。
- ・この講座の途中で東北大の方の“触感について”の話をきいたので、やり方が分かっているのに何でやるのかという気持ちになってしまった。
- ・ワクワクしなかった。